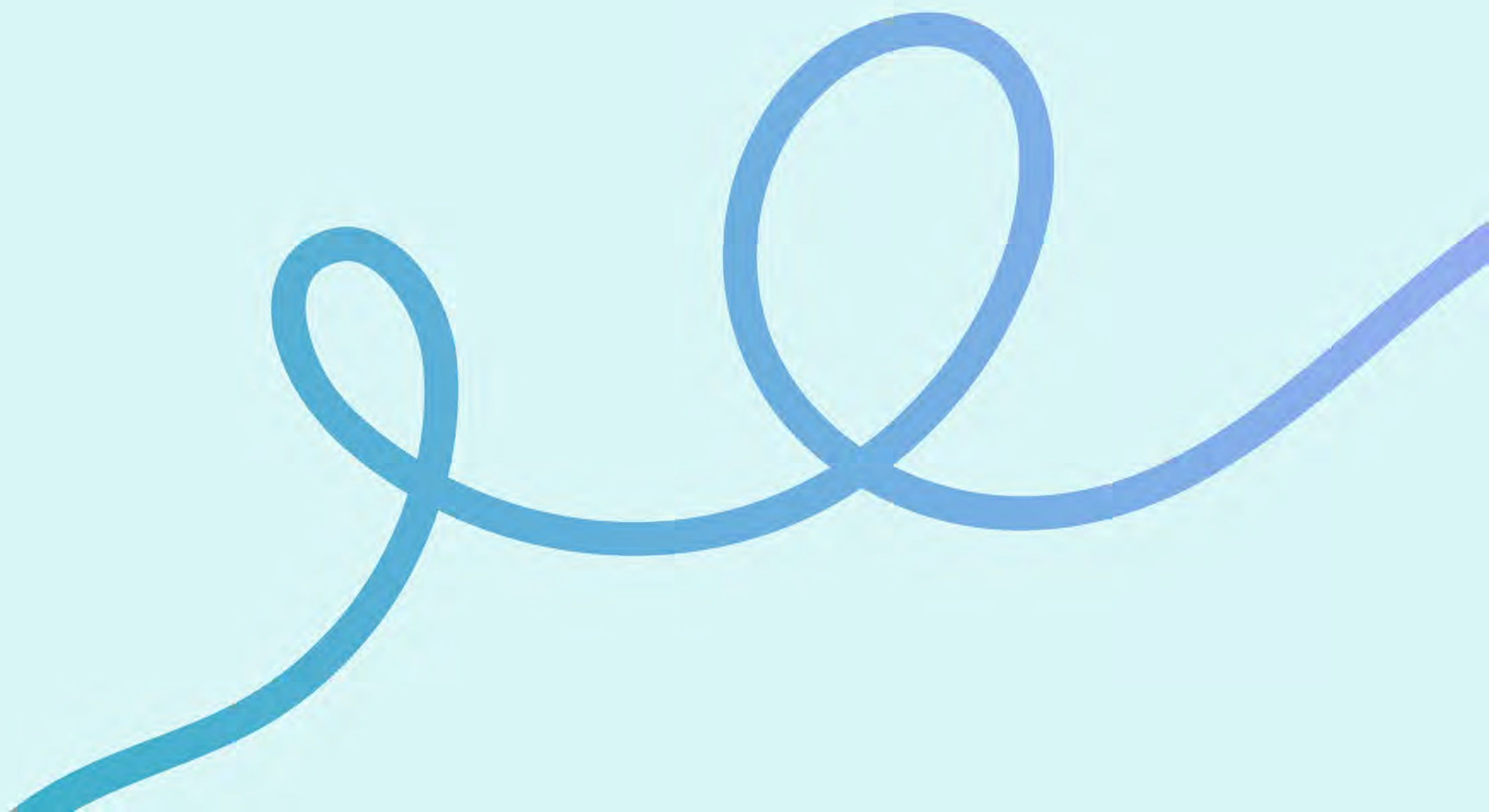


自由塾小学生クラスwith日本財団 活動報告

インターン 楠田薫



目次

- 01 小学生クラスの意義
- 02 どんな子が通っている？
- 03 無料の理由
- 04 教室の様子
- 05 今後の課題



01

小学生クラスの意義

小学生クラスの意義

早い段階からの学習習慣



非認知能力の育成





02

どんな子が通っている？



どんな子が通っている？

- 不登校の子
- 外国にルーツのある子
- 軽度の発達障がいのある子
- 教育センターから紹介を受けた子



03

無料で提供



子ども達に無料で教室を提供

- 小学生のうちには「塾は習い事より優先順位が低い」という認識の保護者が多い。
→月謝をいただくことが非常に困難
- 助成金・寄付で運営。



04

教室の様子



概要

- 子どもの人数：各教室5~8人ほど
- 学習の時間：1時間
- アクティビティ—の時間：1時間
- 特別イベント

教室の様子

- 各教室の子どもやボランティアさんのカラーに合わせた教室運営をしている
- ボランティアリーダーと子どもの信頼関係が強い
- ボランティアスタッフの居場所にもなっている

金曜日 蒲田教室



- 子どもの出席率が最も高く、安定している
- 常連ボランティアの半分程度が高校生・大学生
- アクティビティーに将棋が定着
- 子どもが帰った後はボランティアスタッフのみで
将棋の練習をしている

土曜日午後 大森教室

- 子どもの人数：通常6名程度
- 参加する子ども達が元気いっぱい
ベテランスタッフの活躍が光る

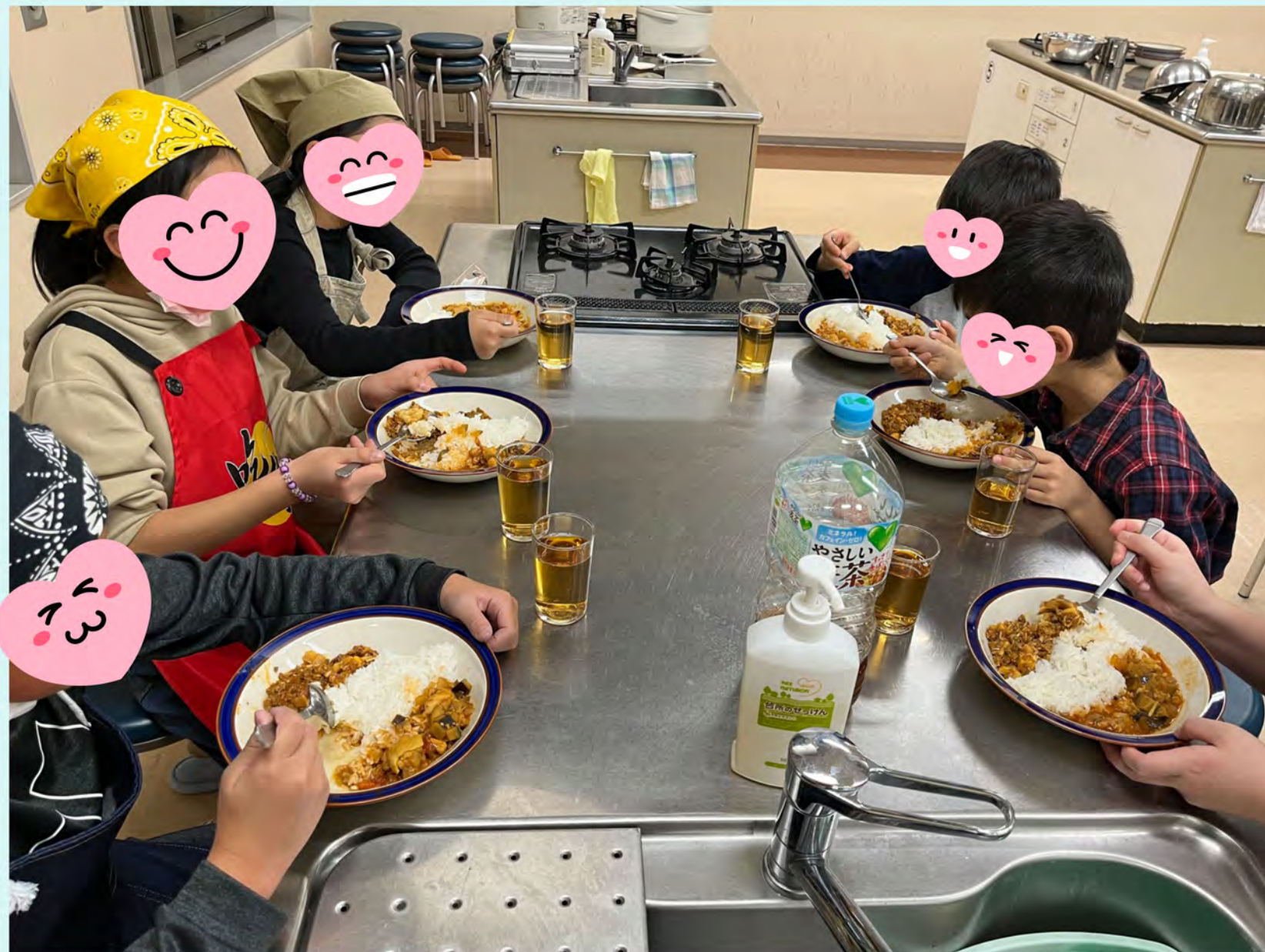


日曜日 池上教室

- 子どもの人数：通常6名程度
- ボランティアリーダー企画のアクティビティーが充実



特別イベント カレー作り



特別イベント 農業体験



特別イベント バレエ体験





05

今後の課題

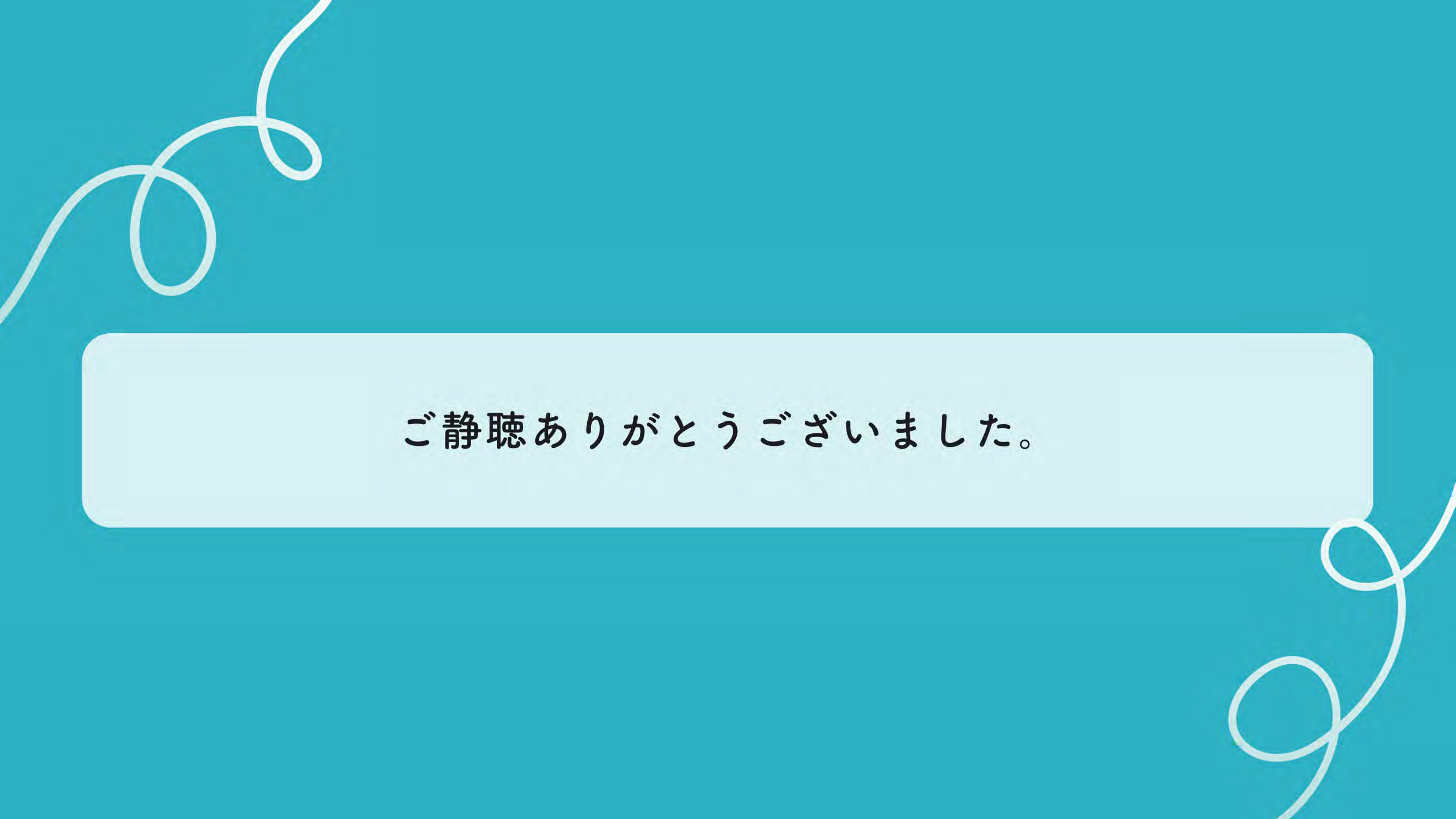
運営資金集め

- 会場費
- 学生ボランティアの交通費
- 有償ボランティアリーダーの人件費
→社会人の現役ボランティアを中心に
マンスリーサポーターの呼びかけ

ボランティアスタッフの研修・交流

- 子どもとの関わり方の知識をつける
- ボランティア内の交流・意見交換の強化





ご静聴ありがとうございました。